

平成24年(行ウ)第117号 発電所運転停止命令義務付請求事件

原告 134名

被告 国

証拠説明書

2017(平成29)年7月3日

大阪地方裁判所 第2民事部 合議2係 御中

原告ら訴訟代理人

弁護士 冠 木 克 彦

弁護士 武 村 二 三 夫

弁護士 大 橋 さ ゆ り

弁護士 高 山 巖

弁護士 瀬 戸 崇 史

復代理人

弁護士 谷 次 郎

号証	標 目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨	備考	
甲 165	入倉・三宅式の データセットは主 に震源インバー ジョンによるものか	原本	2017年6月22 日	久保木契	入倉・三宅論文(甲57)の図7の データセットはWells and Coppersmith(1994)、Somerville et al.(1999)、Miyakoshi(2001)の53 個であり、この中で震源インバー ジョンで求められたデータは Somerville et al.(1999)の8個と宮 腰(2001 私信)の4個、計12個の みである事実。 原本提出	
甲 166	断層面積のトリミ ング可能性の検証 すべり量に関する Somerville規範は 実際に適用可能 か?	原本	2017年6月30 日	小山英之	乙57が対象とした内陸地殻内地震 のうち、すべり量が読み取り可能な 6文献については、甲161の Somervilleの規範によってはトリミ ングできない事実。また、熊本地震 についての2つの文献、福岡県西 方沖地震に関する3つの文献でも 同様である事実。 原本提出	
甲 167	1948年福井地震 の強震動 - ハイブリッド法 による広周期帯域 強震動の再現 - (地震第2輯52巻 129 - 150頁)	写	1999年	入倉孝次 郎、釜江克 宏	入倉氏、釜江氏の論文で、福井地 震の の値を3.5 km/sとしてい る事実。	
甲 168	第11回口頭弁論 調書	写	平成29年4月 24日	名古屋高等 裁判所金沢 支部裁判所 書記官	名古屋高等裁判所で審理中の本 件原発の運転差し止めを巡って事 業者である関西電力と住民の間で 争われている裁判(名古屋高等裁 判所金沢支部平成26年(ネ)第1 26号事件)に、島崎邦彦氏が証人 として出頭し、「島崎発表」に関連 する内容を供述した事実及びその 内容。	
甲 169	島崎邦彦証人尋 問(主尋問)書証 綴り	写	平成29年4月 24日	佐藤辰弥ほ か	同上 甲168の証人尋問で呈示用に使 用された書証綴りである。	